

9

日本の農業② —稲作

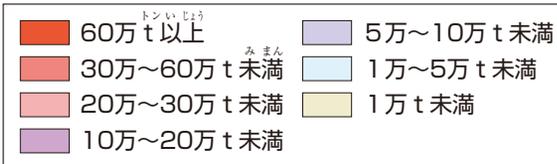
日本の農業は古くから稲作が中心です。全国各地でさまざまな種類の米がつくられています。

減少する作付面積

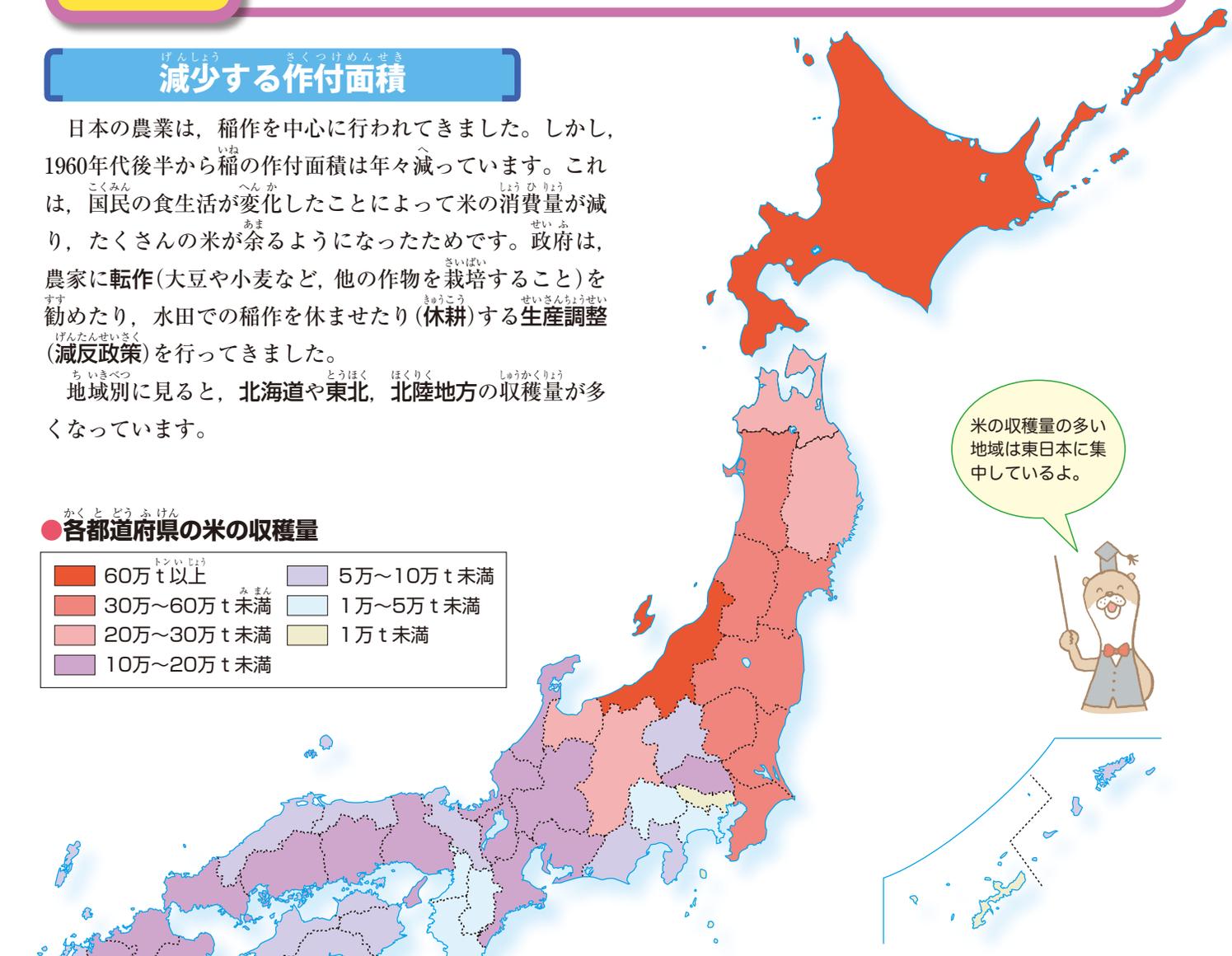
日本の農業は、稲作を中心に行われてきました。しかし、1960年代後半から稲の作付面積は年々減っています。これは、国民の食生活が変化したことによって米の消費量が減り、たくさんの米が余るようになったためです。政府は、農家に転作(大豆や小麦など、他の作物を栽培すること)を勧めたり、水田での稲作を休ませたり(休耕)する生産調整(減反政策)を行ってきました。

地域別に見ると、北海道や東北、北陸地方の収穫量が多くなっています。

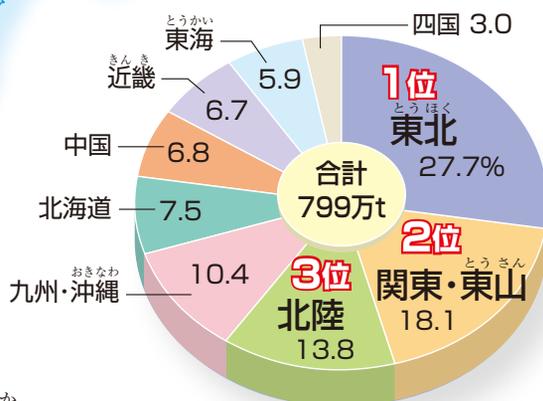
各都道府県の米の収穫量



米の収穫量の多い地域は東日本に集中しているよ。



データ 地域別収穫量



データ 米の収穫量 トップ10

順位	都道府県	収穫量 (t)	全国に占める割合 (%)
1	新潟	61万9200	7.8
2	北海道	60万2600	7.5
3	秋田	52万2400	6.5
4	山形	40万0900	5.0
5	福島	36万5400	4.6
6	宮城	36万4800	4.6
7	茨城	35万6900	4.5
8	栃木	31万0300	3.9
9	千葉	30万7300	3.8
10	岩手	28万7800	3.6

(2015年)「作物統計」ほか

※東山…山梨・長野県、北陸…新潟・富山・石川・福井県、東海…岐阜・静岡・愛知・三重県、近畿は三重県を除く

(2015年)「作物統計」ほか